



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 燦ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9628 URL <https://www.san-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 播島 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 横田 善行 TEL 06-6226-0038  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,984	1.0	589	△15.4	582	△16.8	376	△17.8
2019年3月期第1四半期	4,936	5.3	696	22.7	699	23.6	457	28.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 376百万円 (△17.8%) 2019年3月期第1四半期 457百万円 (28.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	66.97	—
2019年3月期第1四半期	81.51	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,235	26,277	86.9
2019年3月期	31,326	26,070	83.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 26,277百万円 2019年3月期 26,070百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.00	—	30.00	57.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	1.8	1,170	△19.8	1,160	△20.3	750	△28.1	133.54
通期	21,300	2.6	2,810	△4.4	2,790	△5.0	1,800	△14.8	320.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	6,082,008株	2019年3月期	6,082,008株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	465,714株	2019年3月期	465,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	5,616,294株	2019年3月期1Q	5,616,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、当期）におけるわが国経済は、米中貿易協議を巡る不透明感が続く中、中国をはじめとした海外経済の減速による輸出の減少やIT関連財における在庫・生産調整などにより、主に製造業の景況感が悪化したものの、個人消費を中心に堅調な内需を背景に非製造業が下支えし、全体として底堅さを維持しました。

葬祭市場においては、故人や喪主の高齢化に加え、地域社会や職場の人間関係の希薄化等の影響もあり会葬者数は減少傾向にあるとともに、人々の価値観・嗜好の多様化が葬儀の形態や費用のかけ方に反映される傾向が強まっています。

これに対して葬祭事業者は、個性的な小規模会館の開発や独自性のあるサービスの提供、マッチングサイトを含む集客チャネルの多様化、さらには葬儀以外の新規事業への取り組みなど、変化に対応する事業のあり方を模索しています。

以上のような外部環境を踏まえ、当社は2019年5月9日公表のとおり、グループの新たな経営理念の下で、ライフエンディングステージにおけるトータルライフサポート企業への進化を目指す中期経営計画（2019年度～2021年度）をスタートさせました。基本方針として「新経営理念の浸透」、「人財力の強化」、「サービス品質の向上」、「業務効率の改善」、「ライフエンディングサポート事業の拡充」、「新規事業の収益力強化」、「葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大」、「リスクマネジメントの強化」の8つを掲げ、その実現に取り組んでおります。

当期においては、その基本方針の一つである葬儀事業の営業エリアの拡大のため、葬儀会館の新規出店を進めました。その結果、2019年4月に「公益社 香里園会館」（大阪府寝屋川市）、6月に「タライ会館 北大久保」（兵庫県明石市）の2会館をオープンいたしました。

当期はグループ葬祭3社において葬儀施行件数が伸長し、グループの全葬儀施行件数が前年同四半期（以下、前年同期）と比べて4.8%伸長しましたが、葬儀施行単価は3社とも低下したため、葬儀施行収入は前年同期比0.4%の増収にとどまりました。一方、葬儀に付随する販売やサービス提供による収入は、葬儀施行収入を上回る増収率となりました。

費用については、主に人件費、広告宣伝費のほか新規出店に伴う地代家賃等が増加し、営業費用は前年同期比2.9%増加しました。販売費及び一般管理費は、人件費および求人・採用関連費用等の増加により、前年同期比12.8%増加しました。

この結果、当期の営業収益は49億84百万円となり、前年同期比1.0%の増収となりました。また、営業利益は5億89百万円（前年同期比15.4%減）、経常利益は5億82百万円（前年同期比16.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億76百万円（前年同期比17.8%減）と、いずれも減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りです。

#### (ア)公益社グループ

公益社グループの中核会社である㈱公益社においては、関西圏・首都圏の一般葬儀および首都圏の大規模葬儀（金額5百万円超の葬儀）の葬儀施行件数が伸長しました。しかし、葬儀施行単価は首都圏では上昇したのに対して、関西圏では低下しました。その結果、全体の葬儀施行件数は前年同期比4.0%の増加、葬儀施行収入は前年同期比1.6%の増収となりました。葬儀に付随する販売やサービス提供においては、仏壇仏具の販売収入を中心に前年同期比増収となりました。

費用については、人件費や広告宣伝費、地代家賃等の増加により、営業費用は前年同期比増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は41億92百万円（前年同期比2.0%増）となり、セグメント利益は3億7百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

#### (イ)葬仙グループ

葬仙グループの㈱葬仙においては、葬儀施行件数が境港エリアを中心に前年同期比4.6%増加しましたが、葬儀の小規模化の影響により葬儀施行単価が低下したため、葬儀施行収入は前年同期比2.7%の減収となりました。

また、葬儀後に提供する販売やサービスの手数料収入が減少したことが、葬儀施行収入の減収と並んで利益を押し下げました。

この結果、当セグメントの売上高は3億22百万円（前年同期比2.1%減）となり、セグメント損失は7百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

(ウ) タルイグループ

タルイグループの㈱タルイにおいては、新店やリニューアル店を中心に葬儀施行件数が前年同期比9.3%増加したものの、少人数の家族葬が増加したこと等により、葬儀施行単価は低下しました。そのため葬儀施行収入は前年同期比7.4%の減収となりました。

費用については「タルイ会館 北大久保」の outlet に伴う消耗備品費の増加等により、営業費用は前年同期比増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は3億76百万円（前年同期比6.6%減）となり、セグメント利益は18百万円（前年同期比65.9%減）となりました。

(エ) 持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス㈱においては、配当金収入の増加により増収となりました。

費用については、主にグループの求人・採用広告費およびその他の人材募集に係る費用が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は23億59百万円（前年同期比16.2%増）となり、セグメント利益は15億72百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は57億48百万円となり、前連結会計年度末比9億1百万円減少しました。これは主に、未収還付法人税等が2億39百万円、固定資産税等に係る前払費用が1億36百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が12億64百万円減少したことによるものです。

固定資産は244億86百万円となり、前連結会計年度末比1億89百万円減少しました。これは主に、繰延税金資産が1億56百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は302億35百万円となり、前連結会計年度末比10億91百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は24億82百万円となり、前連結会計年度末比13億10百万円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が一括返済期限の到来による返済により9億円減少したほか、営業未払金が3億64百万円減少したことによるものです。

固定負債は14億75百万円となり、前連結会計年度末比11百万円増加しました。これは主に、リース債務や資産除去債務の増加によるものです。

この結果、負債合計は39億58百万円となり、前連結会計年度末比12億98百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は262億77百万円となり、前連結会計年度末比2億7百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益3億76百万円を計上する一方、配当金1億68百万円を支払ったことにより、利益剰余金が2億7百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.7ポイント上昇し、86.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月17日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,611,704	4,346,712
営業未収入金	650,570	633,979
商品及び製品	101,825	104,003
原材料及び貯蔵品	41,916	45,043
その他	245,923	620,579
貸倒引当金	△1,139	△1,348
流動資産合計	6,650,801	5,748,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,375,544	9,406,506
土地	12,344,809	12,344,809
リース資産（純額）	435,793	456,801
その他（純額）	206,751	175,936
有形固定資産合計	22,362,898	22,384,054
無形固定資産	89,937	83,655
投資その他の資産		
長期貸付金	237,136	233,050
不動産信託受益権	539,662	509,552
差入保証金	704,147	691,587
その他	751,322	592,679
貸倒引当金	△8,915	△7,867
投資その他の資産合計	2,223,353	2,019,003
固定資産合計	24,676,189	24,486,713
資産合計	31,326,991	30,235,684

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	1,017,115	652,913
1年内返済予定の長期借入金	919,992	19,992
リース債務	103,954	107,117
未払法人税等	99,028	36,646
賞与引当金	523,513	184,849
役員賞与引当金	49,571	9,139
その他	1,079,392	1,471,547
流動負債合計	3,792,567	2,482,206
固定負債		
長期借入金	25,030	20,032
リース債務	368,125	387,531
資産除去債務	320,236	339,112
その他	751,015	729,150
固定負債合計	1,464,408	1,475,826
負債合計	5,256,975	3,958,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	19,027,330	19,234,966
自己株式	△1,014,088	△1,014,088
株主資本合計	26,070,015	26,277,651
純資産合計	26,070,015	26,277,651
負債純資産合計	31,326,991	30,235,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	4,936,327	4,984,664
営業費用	3,921,283	4,036,559
営業総利益	1,015,043	948,104
販売費及び一般管理費		
役員報酬	44,550	45,540
給料	86,574	89,392
賞与	11,695	15,769
賞与引当金繰入額	15,579	18,291
役員賞与引当金繰入額	8,039	9,412
貸倒引当金繰入額	△21	△839
減価償却費	7,818	6,882
その他	143,911	174,295
販売費及び一般管理費合計	318,148	358,745
営業利益	696,895	589,359
営業外収益		
受取利息	964	895
受取配当金	4	4
助成金収入	1,772	—
雑収入	4,232	4,291
営業外収益合計	6,973	5,191
営業外費用		
支払利息	2,535	2,025
解体撤去費用	—	4,924
雑損失	1,376	5,446
営業外費用合計	3,911	12,396
経常利益	699,957	582,153
特別損失		
固定資産除却損	76	—
特別損失合計	76	—
税金等調整前四半期純利益	699,880	582,153
法人税、住民税及び事業税	54,508	49,568
法人税等調整額	187,577	156,460
法人税等合計	242,086	206,028
四半期純利益	457,794	376,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,794	376,124



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	457,794	376,124
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	457,794	376,124
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	457,794	376,124
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,102,596	329,530	403,204	100,994	4,936,327	—	4,936,327
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,762	138	20	1,929,773	1,937,695	△1,937,695	—
計	4,110,359	329,669	403,225	2,030,768	6,874,022	△1,937,695	4,936,327
セグメント利益 又は損失 (△)	357,378	△2,234	53,948	1,298,674	1,707,766	△1,007,809	699,957

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△1,008,000
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	190
合計	△1,007,809

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,185,905	322,878	376,492	99,388	4,984,664	—	4,984,664
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,649	—	20	2,260,146	2,266,816	△2,266,816	—
計	4,192,555	322,878	376,512	2,359,534	7,251,481	△2,266,816	4,984,664
セグメント利益 又は損失 (△)	307,522	△7,916	18,420	1,572,306	1,890,332	△1,308,178	582,153

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：千円）

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△1,308,000
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△178
合計	△1,308,178

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。